

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立保土ヶ谷公園

指定管理者 : (財) 神奈川県公園協会

施設所管課 (事務所名) : 横浜治水事務所

(平成21年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考 (確認事項等)
4月	5月11日	5月29日	月例報告書・日報・現場確認
5月	6月10日	6月30日	月例報告書・日報・現場確認
6月	7月10日	7月30日	月例報告書・日報・現場確認
7月	8月14日	8月31日	月例報告書・日報・現場確認
8月	9月18日	9月30日	月例報告書・日報・現場確認
9月	10月14日	10月27日	月例報告書・日報・現場確認

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

保土ヶ谷公園の整備方針や特徴、これまでの取り組みを踏まえ、総合的な管理運営方針を「スポーツと健康、みどりと人とのふれあいづくり」として、また、管理運営の3つのテーマを掲げて、一層の県民サービスの向上と経費の節減に努めた管理運営に取り組みます。

- スポーツとのふれあい、健康づくりの発信
 - ・誰もが気軽にスポーツとふれあい、健康づくりに取り組める環境をつくります。
- みどりを守り、育て、活かした公園の魅力づくり
 - ・みどりの特性を活かして、公園の魅力を創り出します。
- 県民に親しまれ、交流の場となる公園づくり
 - ・公園利用とコミュニケーションの促進に努めます。

<実施状況>

- ・5月ふれあい天然芝生・人工芝体験 (サッカー場・ラグビー場)
- ・7月の2009ラグビーフェスティバル、H21年度アマチュア芝生管理教室 (1回目)
- ・9月のH21年度アマチュア芝生管理教室 (2回目)
など、毎年開催されてきた催し物も例年どおり開催され、今年も大勢の来園者に喜ばれた。
- ・その他、梅園で抹茶の提供、竹細工教室、ヤゴの救出作戦 (自然観察会)、夏休み工作教室、犬のしつけ教室等「スポーツと健康、みどりと人とのふれあいづくり」の面から、県民サービスの向上とともに、利用促進が図れたと思います。

3 収支状況

(単位：千円)

	収入額				支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)			
年間予算額	246,000	149,500	40,500	56,000	246,000	0
上半期計 (a)	144,981	83,025	27,529 (0)	34,427 (0)	126,403	18,578
4月	13,741	3,273	3,927	6,541	11,932	1,809
5月	17,599	6,789	4,678	6,132	14,841	2,758
6月	40,157	32,361	3,921	3,875	23,523	16,634
7月	16,528	4,218	5,277	7,033	31,205	△ 14,677
8月	22,990	12,789	5,151	5,050	19,869	3,121
9月	33,966	23,595	4,575	5,796	25,033	8,933
下半期計 (b)						
合計 (a+b)	144,981	83,025	27,529 (0)	34,427 (0)	126,403	18,578

1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。

・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

収支の状況は、収入実績が計画に対して102.7%と概ね計画どおりであるが、支出実績が計画に対して89.5%と計画を下まわっている。12ヶ月を均等に割り振っているため、若干収支差が生じているが、計画的に執行している。若干計画より光熱費の支出が少なくなっているため、今後の執行予定も含め、収支計画に2割以上の変更を生じる場合には、早めに協議するよう指示。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	特になし	
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	406,280人	366,110人	11.0%
4月	57,587人	54,354人	5.9%
5月	70,170人	35,222人	99.2%
6月	40,147人	40,939人	△1.9%
7月	112,274人	94,690人	18.6%
8月	61,922人	80,050人	△22.6%
9月	64,180人	60,855人	5.5%
下半期計 (b)	0人	0人	
合計 (a+b)	406,280人	366,110人	11.0%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

※ 今年度はプールを閉鎖しているにもかかわらず利用者数が増加しているのは、不況に伴い出費を極力抑えるため、遠出をせずに身近な公園の利用が増加しているものと思われる。

※ プール閉鎖については、老朽化に伴う施設再整備のため。

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	5					5
5月	4	2				6
6月	6	2				8
7月	1	4	1			6
8月	1	3				4
9月		1				1

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月			
5月			
6月			
7月	1		1
8月			
9月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・テニスコートの芝面のはがれ	今年度県で改修予定
	・噴水広場トイレのドア故障	現場確認後、カギ部の故障を修繕
職員対応	・ ・	
事業内容	・プール閉鎖についての問い合わせ	プール閉鎖案内の掲示の増等
	・	
その他	・高校野球の騒音苦情	状況を聞き理解を求めていく。
	・高校野球開催時の駐車場満車に伴う道路渋滞等	道路看板の増設、案内指示手持ち看板の新規作成
	・公園管理に関する苦言	指摘された内容で改善すべき点は直ぐに実施

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
4月 28日	春季開催の高校野球に対し、音がうるさいとの騒音苦情があり、自宅へ説明に行くも納得せず、県・高野連に対し争う姿勢を強調。
6月 29日	体育館女子トイレにて盗撮行為があった。女子トイレに入った被害者が気づき、隣で盗撮していた女を確保、続いて逃げた男も確保された。（巡回強化と不審者注意看板の設置）
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
7月17日	横浜治水事務所	公園を代表する広場のアートホール前の伸びた雑草について刈り込みを指示。	刈り込み指示後、直営で実施されたが適期を外さないよう注意を促す。

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>指定管理者として、地域との連携やボランティア団体との関わりが大変重要であり、この上半期のなかで「タブノキの会」を始め、地元とのコミュニティをさらに高める努力が必要であると実感しています。今後、イベント等の協働作業も計画しておりコミュニティの形成に努めます。</p> <p>実作業面では、サッカー場、硬式野球場等の芝生管理を委託者と注意深く取り組んでおり、結果はまだ先ですがこの経験は貴重なものと考えています。植物管理に関して適期を逃さずに作業の遂行が必要と注意されており、的確に実施するように努めます。</p>
施設所管課	<p>収支計画表の計画額の中で、諸掛（光熱水費等含む）の上下水道料金の支出計画が偶数月、支出実績が奇数月となっていることから、実態管理（実績）とそぐわない面があるため、H22年度以降改善する必要がある。また、6月・8月の諸掛（光熱水費等含む）の支出実績が計画額とかけ離れて多いため原因を究明する必要がある。利用者満足度調査からも分かるように、「トイレの状態」の意見を真摯に受け止め、積極的に改善を図る必要がある。また、維持管理の面から見ると公園のメインとなる場所を優先して作業を実施するとともに、作業の適期も逃さず計画的に実施してもらいたい。</p>